



# 散策路周辺で今後景観を良くしていきたいところ

良くないところであがった場所4点について、今後どういう景観になると良いかを話し合いました。目的地までの距離が分かる案内板や工場の煙突を富士山やアカアラインが映えるような色へ変更するなどの具体的な意見が出ました。

## ●案内板



- ・目的地までの距離や時間を入れて分かりやすくするとよい。
- ・散策路内を案内する案内板の設置する数を増やして分かりやすいようにする。
- ・樹木の種類が分かる記名板もあると、より自然への理解が深まる。



(長野市)



(小布施町)

たとえば、目的地までの距離と周辺の地図を入れる方法(左図)や、目的地について、説明文と挿絵を使い、英文と合わせて示す方法(右図)がある。

## ●赤白の煙突



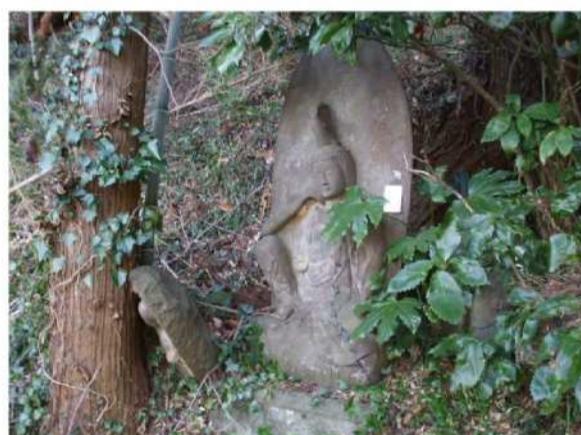
- ・赤白煙突が場所によつては数多く目立ち、景観上気になら。
- ・富士山やアカアラインがきれいに見えるようには、空や周辺にないませる色とすると良いと思う。



(中袖)

袖ヶ浦市内の企業の中には、すでに景観に配慮した色の煙突があります。左の写真と右の写真の煙突、どちらが魅力的な景観に感じますか。

## ●笠上観音(正福寺)の石碑群(石仏群)



- ・社寺、西国三十三靈場の石碑等は歴史・文化的背景もあり、貴重であるため、もっとアピールすると良いと思う。(鎌倉街道へ繋がる道を今後きれいにしていく予定がある。)



(市川市)

地図などの紙面でのアピールや(仮称)そでがうら景観賞の選定などの表彰制度をつくることも考えられる。

## ●里山



- ・里山は大変素晴らしいので、もっとボランティアを増やして整備をすすめていけたらよいと思う。(下草刈り、間引き、倒木をなくす)
- ・重点的にやる場所をくろと人手や予算の限られている中で、効率的に整備できるのではないかと思う。



(梅園)

手入れされた竹林や梅園など、大変見事な場所で、まちあるきの際にには、多くの方から良い景観としての意見があがった。

このマップは長浦地区景観まちづくりワークショップで以下のメンバーとともに作成しました。また、右に各メンバーのワークショップに参加した感想やコメント等を載せています。

参加者メンバー(50音順、敬称略)

在原美和、遠藤一男、坂入頭一、篠崎龍夫  
島倉明、鈴木邦彦  
中川忠、沼田敏美  
馬場元則、武川達雄  
麦野裕、山口孝子  
若本重男



長浦地区の景観(鎌倉街道)の詳細を知ることができました。

知らない事がたくさんありましたが、参加することによって「知る樂しさ」を実感できたと思います。

単に提案に終わるのでなく、提案が前向きに捉えられて頂ける方向性がみられて良かった。

住宅地の近くに隣わらず、自然や歴史が残っている、鎌倉街道が良い(まつわる言い伝え)巨樹木がある。

歴史の遺産が多く残っている(街道、石仏、雜木林、墓、迷路的な道)が重複し興味がある。

自分の住んでいるまわりに知らなかった場所がいっぱいあった。

昔からの木を残す。鎌倉街道、住宅地の近くに昔からの木や(昔の)街道がある。

工場の煙突の色等がもっと自然に合う色となると景観がもっと良くなると思います。

参加メンバーと自由に意見を交わし楽しい時間でした。